

wildstyle. でスタイリッシュに逆車ライフを始める!



#### ノーマルのスタイリングを生かしたカスタマイズ

カスタマイズのテーマは、「スタイリングや機能性はそのままだにトラックらしさに磨きをかける」。スタイリングの要となるタイヤ&ホイールは、FUEL OFF-ROADのD567 Lethal (リーサル) とNITTO A/TのTERRA GRAPLER G2 (285/55R20 ※ノーマルは275/55R20) を選択 (いずれも新作)。ノーマルの取り回しの良さは犠牲にならず、かつタンドラのワイルドさが強調された。合わせてフェンダーにプッシュワーカーのOEスタイルをボディと同色にしてインストール。マフラーはホーラ製を選択して、抜けの良さと、心地よいV8サウンドを楽しめるようにした。サイドステップは、装着率が低いレアな純正品が装着された。ベッドのカバーはLEER (ライザー) 製のトノカバーを採用。ナビゲーションシステムもインストールされており、華飾パネルは、先頃発売されたばかりのメタル調パネルが使われている。



#### カスタマイズのポイント



#### 日本で走らせるために絶対に必要なカスタムを施工

左ハンドル車を日本で走らせる場合、ヘッドライトの調光が絶対に必要だが、その対策として、JDS製のJDS HIDシステム (オーナーの希望からHIDに変更。詳細は次のページで紹介!) を組み込んだ。これにより、日本の法規が守られ、かつ、安全に走らせられるようになった。合わせて、直前・直右を確認できるシステムが必要だが、このタンドラは、フロントのナンバープレート下と、右側のバックミラー内に小型カメラをインストールし、ダッシュボードに設置した小型モニターで、それらからの映像を確認できるようにしている。これも wildstyle. によって対策された。



# クルマ探しからカスタマイズ・メンテまで wildstyle. がトータルでサポートします。

逆輸入車を扱うプロショップは増えており、クルマ選びからカスタマイズ、アフターフォローまでを安心してお願いできるニーズが求められるようになった。ここに紹介する wildstyle. は、そんなニーズにしっかり答えてくれる販売実績が豊富な人気の専門店なのだ。

「タンドラやタコマ、セコピアなど、逆輸入車に乗りたくない! けど、どうやって探せばいいの?」という人に wildstyle. (ワイルドスタイル) は、心強い。まず、海外モデルは輸入後、道路運送車両法の保安基準に適合するよう手を加え、車検を通す必要があるが、年式によって基準に違いはあるけれど、タンドラやタコマほか、逆輸入車は右側通行の米国からやって来る限り、多少の改善が必要となる。主にトヨタの逆輸入車を扱ってきた同ショップ、難しいことも、気になることも、すべてにおいてガッツリ対応してくれる。

さて、購入までの流れは、顧客のオーダーに合致するモデルを探す所から始まる。何よりアメリカ西海岸のUSトヨタディーラーとの関係性が深く、ディーラー内にはスタッフが常勤、現地市場の今を素早く掴み、車両の状態が良好なもののみ厳選、その点も安心だ。フュエルリーオーダーも可能で、国内に入ってくることも少ない、希少な仕様やグレードも発注することができる。ちなみに、ここに紹介するタンドラ (ワイルドスタイル) は、アメリカでは、出回る数が極端に少ない内、外装がトラックの新車で、これも現地スタッフによって奇跡的に確保された1台だ。

納車時のカスタマイズにも対応している。このタンドラのように、ユーザーが希望するスタイリングやパーツを決め、現地へ仕上げてから日本に届けられる体制が整っている (一部カスタムは日本到着後に行なわれる)。wildstyle. から、オンライン・ワン台が手に入るのだ。

■ SHOP INFO  
wildstyle. (ワイルドスタイル)  
住所: 茨城県水戸市千波町 1439-8  
電話: 029-305-6623  
営業時間: 10:00 ~ 18:00  
定休日: 水曜日  
HP: <http://www.wildstylecars.com>



CUSTOMIZE BASE MODEL  
2014 TOYOTA TUNDRA Limited

